

受験科目の選び方

志望校の大学入学共通テストや一般選抜試験に必要な教科・科目を受験してください。

教科	科目		科目の選び方	受験 可能数	問題冊子 の形態	解答解説 の形態
国語	国語		★志望校の入試科目が「現代文」のみの場合は、第1問・第2問・第3問の得点のみで志望校判定を行います。 ★志望校の入試科目が「現代文と古文」のみの場合(「漢文を除く」の場合)は、第1問・第2問・第3問・第4問の得点のみで志望校判定を行います。	1	1冊	
数学	数学①	数学Ⅰ, 数学A 数学Ⅰ	【国公立大, 共通テスト利用私立大・短大志望者】 共通テストで必要な科目を受験してください。数学①と数学②の代替はできません。数学①と数学②が必要な場合に一方のみ受験している場合、科目不足により参考判定(ドッキング判定なし)となります。 例)「数学Ⅰ, 数学Aまたは数学Ⅰ」と「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」がともに必要な場合→数学①、②とも受験が必要 【私立大, 短大, その他の志望者】 志望校の入試で数学が必要な場合、できるだけ入試に必要なコース(数学①または数学②または数学①②)を受験してください。入試に必要なコースを受験していない場合、「科目違い」または「参考判定」の文言を表示します。	2	数学①冊子 数学②冊子 計2冊 ※数学①、数学②は同数でお届けします。	
	数学②	数学Ⅱ, 数学B, 数学C				
英語	英語(リーディング) 英語(リスニング)		共通テスト利用の有無にかかわらず、志望校でリスニングが課される場合(個別試験でリスニングが課されるなど)は、必ず英語(リーディング)と英語(リスニング)を受験してください。	2	リーディング冊子 リスニング冊子 計2冊 ※リーディング、リスニングは同数でお届けします。	
地歴、 公民	地理総合、地理探究 歴史総合、日本史探究 歴史総合、世界史探究 公共、倫理 公共、政治・経済 地理総合／歴史総合／公共		志望校の入試で必要な科目を受験してください。 ★「地理総合／歴史総合／公共」以外の科目を3つ受験する場合は、第3解答科目用の専用マークシートが必要ですので、お申し込みください。 ★志望校の指定科目数以上を受験している場合は、まず、志望校の入試科目を採用し、それ以外は高得点科目で志望校判定を行います。 ★志望校の指定科目以外を受験した場合も志望校判定を行います。ただし、科目によっては判定できない場合もあります。 ★地歴、公民を2つ以上受験する場合、同一名称科目の組み合わせでは受験することはできません。ただし、「歴史総合、日本史探究」と「歴史総合、世界史探究」の組み合わせは受験できます。 ★受験科目数、第1解答科目などの扱いについては、下記の「●「地歴、公民」、理科」で複数科目を受験する場合の注意点」をご参照ください。	3	地歴冊子 公民冊子 「地理総合／ 歴史総合／ 歴史総合／ 公共」冊子 計3冊 ※お申し込みの際の各人数分でお届けします。	高3生用 (新課程対応) に掲載
理科	物理基礎／化学基礎／ 生物基礎／地学基礎 物理 化学 生物 地学		志望校の入試で必要な科目を受験してください。 ★理科(専門)を3つ受験する場合は、第3解答科目用の専用マークシートが必要ですので、お申し込みください。 ★志望校の指定科目数以上を受験している場合は、まず、志望校の入試科目を採用し、それ以外は高得点科目で志望校判定を行います。 ★志望校の指定科目以外を受験した場合も志望校判定を行います。ただし、理科(専門)が必要な場合に、理科(基礎)のみを受験している場合は、参考判定となります。 ★「物理基礎」と「物理」のように、同一名称科目の組み合わせでの受験も可能です。ただし、重複不可の募集単位の場合、参考判定となります。 ★受験科目数、第1解答科目などの扱いについては、下記の「●「地歴、公民」、理科」で複数科目を受験する場合の注意点」をご参照ください。	3	理科(基礎) 冊子 理科(専門) 冊子 計2冊 ※お申し込みの際の各人数分でお届けします。	
情報	情報Ⅰ		共通テスト利用・非利用、国公立・私立にかかわらず、入試教科に「情報」を課す募集単位を志望する場合は「情報」を必ず受験してください。 受験していない場合は、教科不足により判定不可(N判定)となります。 ★「情報」を必須としつつ配点しない募集単位があることを踏まえ、マークシートの提出があれば解答欄が白紙(ノーマーク)でも「受験あり(0点)」として処理し、志望校判定で判定不可にならないよう配慮します。(「情報」以外の教科は、これまで通り、白紙提出の場合は「未受験」となるためご注意ください) ★白紙で提出される場合も、必ず名前、フリガナ、受験番号などをご記入ください。	1	1冊	

- 「地歴、公民」、理科」で複数科目を受験する場合の注意点
【最大3つまで受験可能、4つ以上は受験不可(4つ目以降は採点せず、集計、判定に使用しません。)]
- 地歴、公民について
- ・「地理総合／歴史総合／公共」から2つと「地理総合／歴史総合／公共」以外の科目を2つ受験した場合、合計4つとなるため受験不可です。
(例)「地理総合」「公共」「歴史総合、日本史探究」「歴史総合、世界史探究」を受験→4つとカウントされるため不可
 - ・4つ以上を受験の場合は、以下の優先順位で3つを採用します。
第1解答科目>第2解答科目>第3解答科目
- 理科について
- ・理科(基礎)2つと理科(専門)2つの受験は、合計4つとなるため受験不可です。
(例)「物理基礎」「化学基礎」「物理」「化学」を受験→4つとカウントされるため不可
 - ・理科(基礎)2つと理科(専門)2つを受験の場合、原則として、文系の場合は理科(基礎)2つ・理科(専門)1つ、理系の場合は理科(専門)2つを採用します。
- 【第1解答科目などの扱いについて】
- ・志望校の課す入試科目を確認し、該当する解答科目のマークシートに解答させてください。
 - ・志望校判定では、「第1解答科目」用のマークシートで解答した科目を優先的に採用します。ただし、志望校の課す入試科目を「第1解答科目」ではなく、「第2解答科目」あるいは「第3解答科目」用のマークシートで解答している場合は、「第2解答科目」・「第3解答科目」で解答した志望校の課す入試科目のうちの高得点科目を採用します。
 - ・「第1解答科目」用のマークシートの提出がなく、「第2解答科目」用のマークシートのみが提出された場合は、「第2解答科目」用のマークシートで解答した科目を「第1解答科目」として扱って集計を行います。

成績集計、志望校判定と集計方法

成績集計

【主な成績集計のコース】

文理	集計コース	教科(教科名の後の数字は必要科目数)	満点
文系	6－9文系	国語, 数学2, 英語, 地歴・公民2, 理科(基礎2または専門1), 情報	1000
	5－8文系	国語, 数学2, 英語, 地歴・公民2, 理科(基礎2または専門1)	900
	国英歴史文系	国語, 英語, 地歴・公民2	600
理系	6－8理系	国語, 数学2, 英語, 地歴・公民1, 理科(専門2または基礎2専門1), 情報	1000
	5－7理系	国語, 数学2, 英語, 地歴・公民1, 理科(専門2または基礎2専門1)	900
	数英理理系	数学2, 英語, 理科(専門2または基礎2専門1)	600

【成績集計(集計コース)における偏差値の算出】
各集計コースの偏差値は、「各科目の偏差値を平均」して算出すると、合計点で算出した偏差値・順位と矛盾が生じる場合があるため、大学入試の可否判定で一般的に用いられる「各集計コースの科目合計点」により算出しています。

【英語】
英語は英語(リーディング)と英語(リスニング)の合計点(200点満点)で集計します。
また、英語(リーディング)のみ、英語(リスニング)のみの受験でも200点満点で集計します。

【数学】
2科目必要な集計コースで、1科目のみ受験している場合は得点を倍にして集計します。

【地歴、公民】
・「地理総合／歴史総合／公共」を3つ受験した場合は、高得点の2つを採用し、得点を倍にして集計します。
・「地理総合／歴史総合／公共」を1つのみ受験した場合は文系、理系ともコース集計には採用されません。
・「地理総合／歴史総合／公共」以外の科目を3つ受験した場合は、高得点の2つを採用し、集計します。
・各集計コースの「地歴、公民」の満点に受験内容が満たない場合、得点を配点に応じて換算し、集計します。

【理科】
・理科を複数科目受験した場合は理科(専門)を優先して集計します。ただし、「6－9文系」、「5－8文系」の集計では、理科(基礎)を2つ、理科(専門)を1つ受験した場合のみ、理科(基礎)を優先して集計します。
・各集計コースの理科の満点に受験内容が満たない場合、得点を配点に応じて換算し、集計します。

志望校判定と集計方法

志望校判定 ※志望校記入数は8校までです。

【志望校判定に必要な教科・科目】

- ・志望校の入試教科・科目を受験してください。
- ・今回の集計・判定は、国公立大で2025年度入試の科目・配点が判明している場合はその科目・配点を使用します。それ以外は、原則として2024年度入試の科目・配点を使用します。
- ・共通テストの入試科目「地歴、公民」「理科」において2科目受験している場合に第1解答科目を入試の可否判断に採用する大学については、第1解答科目を優先して志望校集計を行い、判定を提供します。
- ・詳細は、【受験科目の選び方】のページをご確認ください。

【参考判定】

入試に必要な教科・科目や科目数を受験していない場合は、「参考判定」または「判定不可(N判定)」となる場合があります。
(例) 英語(リスニング) 必須で英語(リーディング)のみ受験、理科2科目必須で1科目のみ受験の場合など。

【今回の志望校判定】

国公立大 共通テスト利用 私立大・短大	【共通テスト判定】 志望校が課す共通テストの出題教科・科目、配点で集計し、判定を算出します。共通テストの得点を第1段階選抜でしか利用しない大学・短大の場合は、志望校が課す共通テストの出題教科・科目を模試の出題配点で集計します。
	【ドッキング判定】 10月に実施された「第2回ベネッセ・駿台記述模試」を受験している場合、当模試の成績を共通テスト、「第2回ベネッセ・駿台記述模試」の成績を個別試験とみなして集計し、判定を算出します。個別試験で学科試験を課さない大学・短大の場合は、一部を除いて当模試の共通テスト判定と同じになります。
私立大、短大、 その他(一般選抜)	【2次試験・一般選抜判定】 志望校が課す入試の出題教科・科目、配点で集計し、判定を算出します。

受験科目の選び方

志望校の大学入学共通テストや一般選抜試験に必要な教科・科目を受験してください。
「数学」「地歴、公民」「情報」は新課程科目での受験も可能です。

教科	科目		科目の選び方	受験 可能数	問題冊子 の形態	解答解説 の形態
国語	国語		高3生と同じ P.8をご確認ください。	1	高3生用 と共通	高3生用 と共通
数学	数学①	旧数学Ⅰ・ 旧数学A	【国公立大、共通テスト利用私立大・短大志望者】 共通テストで必要な科目を受験してください。数学①と数学②の代替はできません。数学①と数学②が必要な場合に一方のみ受験している場合、科目不足により参考判定(ドッキング判定なし)となります。 例)「旧数学Ⅰ・旧数学A」と「旧数学Ⅱ・旧数学B」がともに必要な場合→数学①、②とも受験が必要 【私立大、短大、その他の志望者】 志望校の入試で数学が必要な場合、できるだけ入試に必要なコース(数学①または数学②または数学①②)を受験してください。入試に必要なコースを受験していない場合、「科目違い」または「参考判定」の文言を表示します。	2	数学①冊子 数学②冊子 計2冊 ※数学①、数 学②は同数 でお届けし ます。	高卒生用 (旧課程対応) に掲載
	数学②	旧数学Ⅱ・ 旧数学B				
英語	英語リーディング		高3生と同じ P.8をご確認ください。	2	高3生用 と共通	高3生用 と共通
	英語リスニング					
地歴、 公民	旧世界史B、 旧日本史B、 旧地理B		志望校の入試で必要な科目を受験してください。 ★3つ受験する場合は、第3解答科目用の専用マークシートが必要ですので、お申し込みください。 ★志望校の指定科目数以上を受験している場合は、まず、志望校の入試科目を採用し、それ以外は高得点科目で志望校判定を行います。 ★志望校の指定科目以外を受験した場合も志望校判定を行います。 ★公民を2つ受験の場合は「旧倫理」「旧政治・経済」の組み合わせのみ可能です。(「旧現代社会」「旧倫理、旧政治・経済」の一部は「旧倫理」「旧政治・経済」の共通問題です。) ★受験科目数、第1解答科目などの扱いについては、下記の「●「地歴、公民」で複数科目を受験する場合の注意点」をご参照ください。 ★新・旧の異なる教育課程の科目を組み合わせで受験することはできません。	3	旧地歴冊子 旧公民冊子 計2冊	高卒生用 (旧課程対応) に掲載
	旧現代社会、 旧倫理、旧政治・経済、 旧倫理、旧政治・経済					
理科	物理基礎／化学基礎／ 生物基礎／地学基礎 物理、化学、生物、地学		高3生と同じ P.8をご確認ください。 ★受験科目数、第1解答科目などの扱いについては、P.8の「●「地歴、公民」、「理科」で複数科目を受験する場合の注意点」をご確認ください。	3	高3生用 と共通	高3生用 と共通
情報	旧情報		共通テスト利用・非利用、国公立・私立にかかわらず、入試教科に「情報」を課す募集単位を志望する場合は「情報」を必ず受験してください。 受験していない場合は、教科不足により判定不可(N判定)となります。 ★「情報」を必須としつつ配点しない募集単位があることを踏まえ、マークシートの提出があれば解答欄が白紙(ノーマーク)でも「受験あり(0点)」として処理し、志望校判定で判定不可にならないよう配慮します。(「情報」以外の教科は、これまで通り、白紙提出の場合は「未受験」となるためご注意ください。) ★白紙で提出される場合も、必ず名前、フリガナ、受験番号などをご記入ください。	1	旧情報冊子	高卒生用 (旧課程対応) に掲載

- 「地歴、公民」で複数科目を受験する場合の注意点
【最大3つまで受験可能、4つ以上は受験不可(4つ目以降は採点せず、集計、判定に使用しません。)]
○地歴、公民について
・4つ以上を受験の場合は、以下の優先順位で3つを採用します。
第1解答科目>第2解答科目>第3解答科目
【第1解答科目などの扱いについて】
・志望校の課す入試科目を確認し、該当する解答科目のマークシートに解答させてください。
・志望校判定では、「第1解答科目」用のマークシートで解答した科目を優先的に採用します。ただし、志望校の課す入試科目を「第1解答科目」ではなく、「第2解答科目」あ
るいは「第3解答科目」用のマークシートで解答している場合は、「第2解答科目」・「第3解答科目」で解答した志望校の課す入試科目のうちの高得点科目を採用します。
・「第1解答科目」用のマークシートの提出がなく、「第2解答科目」用のマークシートのみが提出された場合は、「第2解答科目」用のマークシートで解答した科目を「第1解
答科目」として扱って集計を行います。

成績集計、志望校判定と集計方法

成績集計

- 【主な成績集計のコース】
・P.9【主な成績集計のコース】と同様です。ご確認ください。
【成績集計(集計コース)における偏差値の算出】
・P.9【成績集計(集計コース)における偏差値の算出】と同様です。ご確認ください。
【英語、数学、理科】
・P.9「成績集計」の各教科と同様です。ご確認ください。
【地歴、公民】
・各集計コースの「地歴、公民」の満点に受験内容が満たない場合、得点を配点に応じて換算し、集計します。
・必要な科目数を超えて受験している場合は、次の優先順位で採用して集計します。
第1解答科目>第2解答科目>第3解答科目

志望校判定と集計方法

- 志望校判定 ※志望校記入数は8校までです。
・P.9「志望校判定と集計方法」と同様です。ご確認ください。